

人権という希望

2009/6月



新しい人権擁護委員が決まりました

人権擁護委員は、人権に関わる問題の解決や人権尊重社会への理解を広めるため、さまざまな活動や人権相談等を行っています。

4月1日から、新たに石川てる代（東元町在住）、木下るみ子（西元町在住）、熊谷淳（東元町在住）、増田加代子（本多町在住）の4人が法務大臣より人権擁護委員として委嘱され、再任の梓澤和幸（泉町在住）、小部正治（泉町在住）の両委員とあわせ、国分寺地区の人権擁護委員は6人になりました。任期は3年間です。

平成8年7月より人権擁護委員としてご活躍の遠藤早苗、佐野正子の両委員は、3月末をもって退任されました。長い間ありがとうございました。

☆☆☆☆ 人権身の上相談 ☆☆☆☆

あなたの人権が侵害されたとき、日常生活に悩みや不安をかかえているとき、人権擁護委員が相談をお受けします。

どなたでもご利用になれます。お気軽にご相談ください。

相談は無料・秘密を厳守します。（予約制）

月 日	月 日
6月1日（月）	11月12日
7月9日	12月10日
8月13日	1月14日
9月10日	2月10日（水）
10月8日	3月11日

【人権身の上相談日程】

☆ まずはお電話でご予約ください

予約電話受付 042-573-4378 男女平等推進センター

〈月～金 9:00～17:00 土・日・祝日・年末年始を除く〉

【人権身の上相談】 原則として 毎月 第2木曜日 午後1時～4時 （一人1回30分）

場所 男女平等推進センター相談室 （ひかりプラザ2階）

題字には、人権はどんな苦しさものりこえる希望の力だ、という意味がこめられています。



人権作文のお願いなどで学校を訪問するとき、明るい陽と季節の花咲く校庭で力いっぱい遊ぶ子どもたちの姿にふれ、活力をいただいています。

人権擁護の活動が、この街に住む人々の困難を解決するため少しでもお力になれることを願っています。新しく委員になられたひとたちとご一緒によろしく願います。

梓澤 和幸



この度、人権擁護委員をお引き受けいたしました。産婦人科医師として、性犯罪・ドメスティックバイオレンス・セクシャルハラスメントで心身ともに傷ついた女性の診療をすることがあります。誰もが安心して暮らせる社会を作るべく尽力いたします。

よろしく願います。

石川 てる代



縁あって国分寺に住みたくさんの方に会いこの町が大好きになりました。4年前、声かけあって笑顔で暮らせる町への一端を担えたらと思いNPO 法人 Ann Bee を6名で立ち上げ、全国名水百選「真姿の池」湧水仕込み石けん、七重塔フィナンシェ、武蔵国分寺サブレを製造しています。国分寺の歴史と一緒に心と暖かさを伝えていきたいと思っています。

何か私でもお役に立てることがあればと思いお引き受けいたしました。どうぞよろしく願います。

木下 るみ子

今年度、委嘱を受けて新任の委員になりました。研修や会議等に出席させていただき、その職務の広さと内容の深さ、責任の重さを強く感じているところです。

今、正直に委員の使命を果たして自分に遂行できるのかと不安でいっぱいです。幸い経験豊富な先輩委員がおられ、これから教を請い、指導を受けながら少しでも目的に叶うよう微力ながら努力をしていきたいと思っています。

熊谷 淳



泉町3丁目に妻・次女と住む。立川市出身。弁護士。新宿区四谷の東京法律事務所に30年勤務し、労働者の権利をはじめ多様な事件に取り組む。人権擁護委員は11年目。毎年、人権作文と「人権のつどい」を楽しみにしている。

趣味は登山。毎週のように御嶽山・陣馬山等と日帰り温泉を楽しむ。

小部 正治



大役を仰せつかり、身が引き締まる思いです。私は、これまでPTA会長、主任児童委員など教育や福祉の活動に取り組み、同時にたくさんの人たちと出会うことができました。

この間、一貫して「思いやりの心」を大切にしてきました。その心を忘れずに、これまでの活動の集大成として人権擁護の活動に全力を尽くしていきたいと考えております。

増田 加代子



発行【国分寺地区人権擁護委員の会】

問い合わせ：国分寺市市民生活部男女平等人権課 〒185-0034 国分寺市光町 1-46-8 ひかりプラザ内
Tel: 042-573-4378 Fax: 042-573-4388 Email: jinken@city.kokubunji.tokyo.jp